わたしが一番きれいだったとき　茨木のり子

二年四組みんなの書き込み・感想１

二年　組　番　氏名

今日の目標

○　作者の願い（決意したこと）は何でしょう。左の囲みに書きましょう。

○　**構成**　小見出し

1　〔　　〕連　～　〔　　〕連

2　〔　　〕連　～　〔　　〕連

3　〔　　〕連

4　〔　　〕連

○どうして作者はルオーのように長生きしたいのか。学習を振り返ってまとめましょう。

項目	感想の要点	氏名	新たな感想
詩の構成	八連構成，全て四行，一～七連は，くり返しが使われている。 最後の連は，「きれいだった」という昔を表すくり返しの言葉がない。だから，今の自分のことを表している。 一～二十八行までは，戦争の悲しみ。二十九行からは，決意の文。	悠太・雄亮・葉月・信吾・敏弥 香織書き込み１ 良貴書き込み２	
沢山死んだ	戦争だったみたい。 いろんな人達がどんどん死んでいくところを見た。 まわりの人が死んだ。 戦争は多くの物を人々から奪うから嫌だ。	かず菜感想３ 雄亮書き込み４ 陽子感想５ 謎の人感想６	

頭はからっぽ	悠太書き込み 7
	稚子書き込み 8
ひどいことが起きすぎて我を失っている。	嘉明書き込み 9
心はかた	金城愛理書き込み 10
	里紗書き込み 11
怒り	朝日感想 12
	謎の人感想 13
	里紗書き込み 14
ふしあわせさ	光感想 15
	鈴美感想 16
	めぐみ感想 17
	信吾感想 18
	嘉明感想 19
	葉月感想 20
苦しみ・悲しみつらさ	いづみ感想 21
	佑治感想 24
	純子感想 25
	華生感想 26
	光星感想 27
	大城愛梨感想 28
	善智感想 29
	嘉明感想 30
	由紀乃感想 31
	金城愛理感想 32
あこがれ	公平感想 33
決意	有沙感想 34
目標	佑治書き込み 35
生き方	良貴感想 36
	稚子感想 37

わたしが一番きれいだったとき　茨木のり子

二年四組みんなの書き込み・感想２

二年　組　番　氏名

今日の目標

項目	感想の要点	氏名	新たな感想
「ね」につ	何で「ね」だけがずれているの？	公平書き込み	
	なぜ，最後の一行に「ね」だけしかなの？	善智書き込み	
	何でこの一文字だけ違う行なの？	葉月書き込み	
	みんなに言っているのかいづみ書き込みな？それとも，全部４行にそろえるため？どんな意味があるの？		
	最後の行に「ね」一文字だけなのがおもしろい。	香織書き込み	
	誰かに聞いている。	由紀乃書き込み	
	誰かに聞いているみたい。	由貴感想	
	一番楽しいときに，こんな思いをするのは絶対いやだ**ね**。	敏弥感想	

◎「ね」には，作者のどんな思いが込められていると思いますか。自分の考えをまとめましょう。

◎「ね」に込められた作者の思いについて，ペアで話し合って，「**～（な）思い**」「**～（な）気持ち**」と短冊に書きましょう。考えが違うときは，別の短冊に書いてもかまいません。書けたら，黒板に張り出しましょう。

ペアの名前（　　）　＊短冊に清書しましょう。

下書き

◎授業を振り返って，自分が考えたこと，感じたことをまとめましょう。

三章　平和をもとめる

～描かれたできごとをとらえ，歴史的な意味を考えよう。～

わたしが一番きれいだったとき」感想用紙

黄色は大切な命を表す色です。平和と愛の象徴（シンボル）として，多くの人たちが黄色に思いを込めています。

作者の思いを受けとめ，あなたの決意を込めて感想をまとめましょう。

（「初めの一歩」のメモを生かして書くといいでしょう。）

二年　組　番　氏名

わたしが一番きれいだったとき」ワークシート　1

二年　組　番氏名

今日の目標

描かれたできごとを読み取ろう。

作品名

作者名

一番きれいな　とき

にあふれている。

夢・希望を奪われた「わたし」

自己評価

よくできたA　だいたいできたB　あまりできなかったC				
くり返し音読や黙読ができましたか？ **関心**	積極的に書き込みが，できましたか？ **読むこと**	「わたし」の青春時代のできごとについて理解できましたか？ **読むこと**	「わたし」の怒りや無念さが理解できましたか？ **読むこと**	積極的に話し合いに参加できましたか？ **関心**

今日の授業のひとこと感想

資料　1

「わたしが一番きれいだったとき」　書き込みシート

二年　組　番　氏名

わたしが一番きれいだったとき　茨木　のり子

1　わたしが一番きれいだったとき
2　街々はがらがら崩れていって
3　とんでもないところから
4　青空なんかが見えたりした

5　わたしが一番きれいだったとき
6　まわりの人達が沢山死んだ
7　工場で　海で　名もない島で
8　わたしはおしゃれのきっかけをおとしてしまった

9　わたしが一番きれいだったとき
10　だれもやさしい贈り物を捧げてはくれなかった
11　男たちは挙手の礼しかしらなくて
12　きれいな眼差だけを残し皆発っていった

13　わたしが一番きれいだったとき
14　わたしの頭はからっぽで
15　わたしの心はかたくなで
16　手足ばかりが栗色に光った

17　わたしが一番きれいだったとき
18　わたしの国は戦争で負けた
19　そんな馬鹿なことってあるものか
20　ブラウスの腕をまくり卑屈な町をのし歩いた

21　わたしが一番きれいだったとき
22　ラジオからはジャズが溢れた
23　禁煙を破ったときのようにくらくらしながら
24　わたしは異国の甘い音楽をむさぼった

25　わたしが一番きれいだったとき
26　わたしはとてもふしあわせ
27　わたしはとてもとんちんかん
28　わたしはめっぽうさびしかった

29　だから決めた　できれば長生きすることに
30　年とってから凄く美しい絵を描いた
31　フランスのルオー爺さんのように
32　ね

○どんなことを書き込むの?

1　イメージとして浮かんだこと
2　気づいたこと発見したこと
3　こんなのはいやだ
4　すてきだな
5　その気持ち分かるなあ
6　表現について
7　詩の構成について

初めて読んだ感想

1
5
10
15

松城中学校二年四組　創刊号
国語科通信

こだま

二〇〇四年
六月二十八日

濱川尚子

おひさしぶりです！

先日，皆さんに会えてとても嬉しかった！真剣にアンケートに答えてくれたので，とても参考になりました。ありがとうございました。

今日から，四回シリーズで詩の学習をいっしょにやっていくことになりました。久しぶりの授業で，緊張しています。でも，やっぱりうれしくて，ワクワクしています。半々かな？

どうぞよろしくお願いします。

「スタンバイ・シート」の結果

皆さんのこれまでの国語に対する意識を知るために，二年四組に聞きました。回答者は，男子十二名，女子十七名でした。

だいたいの皆さんが国語の勉強の必要性を感じながら，詩の勉強に苦手意識があるようです。なぜかなぁ？そこで，今日はそこからスタートです。詩の学習の仕方について勉強していきましょう。

国語への意識や理解度について

Q１　国語の勉強が好き？

そう思う3	どちらかと言えばそう思う　１５	どちらかと言えばそう思わない　7	そう思わない　4

Q２　国語の勉強は大切？

そう思う　１６	どちらと言えばそう思う　１１	１	１

１ → どちらかと言えばそう思わない

１ → 無答

読むことの学習について

Q３　詩を読むことが好き？

好きだ3	どらかと言えば好きだ　5	好きでも嫌いでもない　１６	3	嫌いだ → 2

Q４　詩を読む学習は？　（どちらかと言えば嫌いだ）

1	だいたい分かる　１１	分かること分からないことが半分くらいずつある　１３	2	2

1 → よく分かる

2 → 分からないことが多い

2 → ほとんど分からない

松城中学校二年四組
国語科通信
こだま
二〇〇四
七月一日
濱川尚子

久々の授業
みんなが真剣で　うれしかった

レッツ トゥライ **書き込み**
～いろいろな詩～の感想

◎意味があんまりわからないのをみんなでやると，だんだんおもしろくなってくる。　Y

◎詩の勉強で書き込みはあまりできなかったけど，この勉強は詩が苦手な僕がちょっとできるようになった。次回から書き込みができればいいと思う。　Y

◎今日の授業で詩の勉強をしていろんなことがわかりました。たとえば，作者の気持ちや表現のおもしろさとかを感想で表したりしていたことです。詩は，苦手だけどがんばりたいと思う。　S

◎書き込みのポイントがわかった。　H

◎詩を読むことで，いろんなことがわかるんだなーと思った。小学生なのに詩を書くのが上手だと思った。　Y

◎詩は一応読むのは好きだけど，自分の体験を振りかえることも考えながら読むのは，初めて知りました。次からこのことを考えながら読もうと思う。　K

◎詩は，そんな興味とかなかったけど，ちゃんと自分なりの感想が見つけられて，よかったなあ。って思った。　R

◎普段何気なく見ている詩でも，深く考えるとこれほどまで，大きな発想になるとは思わなかった。　A

◎自分の小さいときに思ったことが書かれていたが，それをいかにわかりやすく伝えるかが，詩の難しいところかも知れないところだと思った。　Y

◎今日の授業は「あっ，みんなも同じこと思ったんだ」とか，「あの人は，こんなこと思ったんだ」っていうのがわかって，とても楽しい授業だった。　A

◎最初，詩を読むのは難しそうだなあ，って思ったけど，線を引いて思った事を書いたりするだけで，凄く深く学ぶ事ができて，こんなに読むのが楽しいと思わなかった。詩の分野がちょっと苦手だったけど，これからは楽しめそう。　Y

◎「ああ，そう言えば私も小学生の頃は，こんなだったなあ。」とか，「わかる，この気持ち」とかいうのがあった。小学生は，文章もぜんぜん意味わからなかったりしたけど，大人にはない，「なつかしさ」があった。　N

◎自分も共感する詩だった。特にハーモニカは，小学生頃，よく忘れ物をした私にとって「うんうん」とうなづける作品でした。今日は，書く込みは上手にできたけど，発表ができなかったので，次は発表をするように頑張る。　W

松城中学校二年四組

国語科通信３号

こだま

二〇〇四　七月五日

濱川尚子

二年四組　みんなのイメージ「平和」と「戦争」

「平和」	「戦争」	名前
幸せ	怖い・家族がばらばらになる。	H
みんな平和だったら，毎日楽しく暮らしてると思う。	人が死ぬ。何年たっても消えない心の傷だと思う。	I
平和はとても幸せな感じで，何も争いのない感じ。	戦争は，とても残酷で，人の命を奪い，とても悪いことだと思う。	Y
幸せ	死	T
大事	おろかな事	H
戦わなくて，命も同じでに住む。	人が死んだりして多くの命がなくなる。	Y
争いごとのない平和は人がちゃんと生活できる事だと思う。	人がたくさん死ぬ	K
	戦争は，人が死んだりするし，生活がちゃんとできないから，平和とは反対だと思う。	Y
いいこと	悪いこと	N
けんかや泥棒などがいっさい無い。	人と人との殺し合い。	T
幸せ	苦しみ	J

PEACE（ピース）	R
人の尊い命を奪い，世界からなくさないといけないもの	R
みんなが仲良くて協力し合う。	A
殺し合い。	A
みんあ幸せ。一人も困ってる人がいない。明るい。	K
苦しい。暗い。悲しい。怖い。	K
自由	A
笑顔	A
みんなが笑顔で暮らす。	Y
残酷	Y
人類の願い	Y
死	A
緑，白い鳥，平等	Y
食料もなく悲しいこと。	Y
戦争が無いこと	K
金と欲望	Y
普通	H
戦争のない幸せな時	S
普通の人が死ぬこと	Y
世界のみんなが自由で平等という事	W
怖い	H
みんな平等で争いのない豊かなこと	Y
幸せの無いとき	S
みんなで仲良くなる。	Y
人権も何も無く暗い醜い行い	W
人間みんないじめなく，明るく暮らしていける。	R
人の命を奪って町を壊す，やってはいけないこと	Y
みんな仲良し	A
人が人を殺し合う。	Y
二度と起こしてはいけないこと。	A
人と人が仲良く協力すること。	Y
人が次々と死んで行く，殺し合い。	R
争い，反乱を起こすこと。	Y

松城中学校二年四組
国語科通信５号
こだま
二〇〇四
七月　十二　日
濱川尚子

「ね」一文字にこだわって

◎他の人の考えを沢山知って，楽しかった。　M
◎「ね」について考えた自分の意見と，友達の意見を読み合って，ふたりの答えを合わせて短冊にするのはいいなと思った。　N
◎みんなの意見を聞いているうちに，自分では考えていなかったことがいっぱいわかった。作者が，どれだけつらい思いをしたのかわかった。　N
◎みんなの考えをひとりひとり違って，その中でも，同じ考えの人がいたり，逆の考えの人がいた。平和や戦争について，まとまった考えが生まれたと思う。　O
◎詩の最後の「ね」には，いろいろな意味があるんだなあと思いました。　M
◎たった一文字の「ね」だけで，多くの思い，気持ちが込められているんだと思いました。その中には，決意，願い，訴えなどいろいろなものがあり，とてもよかったです。　K
◎今日は，最後の「ね」の行についての授業でした。「ね」には，作者の訴えたいという気持ちや，決意，願い，そして意志が込められていることを感じることができました。　G
この詩を書いた人は，戦争でつらい思いをしたことを詩にして，みんなに伝えたかったんだと思った。あと，最後の「ね」には，深い意味があるんだと思った。　T
◎作者は本当に，決意，願い，訴え，意志の気持ちをこの「ね」に込めたんだと思う。　K
◎今日の授業は，みんながこの詩についてどう思ったのかがわかった。あと，この作者の気持ち，願い，訴えなどがわかってうれしかった。この詩をいろんな人に読んでもらいたいと思った。　S
◎授業をふり返って，自分は「ね」の一文字にお込められた作者の様々な気持ちを知ることができた。「ね」を一文字書いただけで，こんなに意見が出るなんてすごいと思った。　A
◎「ね」についてどういう意味があるのかで，ものすごく悩んだ。授業でもんなが考えた「ね」について少しずつ分かってきた。　O
◎前の授業よりも，今日の授業は作者の思っていた気持ちや決意「ね」に込められた思いなどが伝わった気がした。　I
◎今日の授業をやって，もっと深くこの詩を書いた茨木のり子の気持ちがわかるようになりました。　S
◎たった一言の「ね」だけで，これだけ授業がふくらむとは思わなかった。またやりたいです。　N
◎この詩には，作者が体験したつらい過去全てを書いたと思う。戦争でこれ以上の犠牲を出してほしくないから，この詩を書いたと思う。戦争はよくないし，経験した人にとっては，大きな傷を与えると思う。だからこれからも，平和な世の中を守り続けたいと思った。　T
◎戦争時代に，作者がとてもつらい思いをしていて，他に人々も，いろんなものを失ったから，絶対に戦争はないほうがいいと思った。　T